

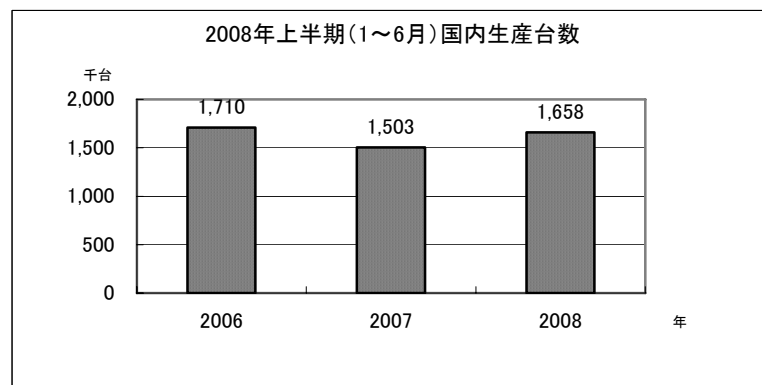
# 2008年上半期ドイツ自転車市況

## 1. 生産、輸出入

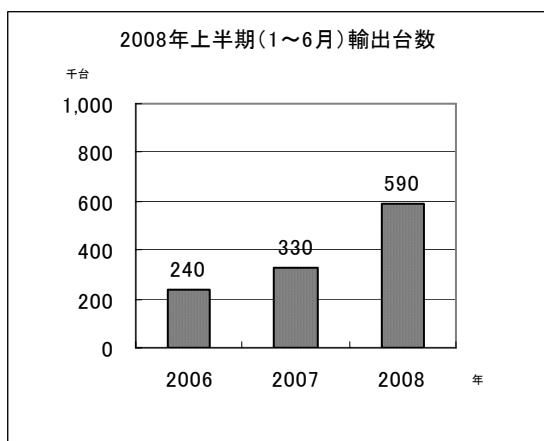
ドイツ二輪産業協会(ZIV)の発表によると、2008年上半期(1~6月)のドイツ自転車市場は、全般的に前年を若干上回る程度の数値となった。昨今の燃料代高騰は、自転車小売専門店及び量販など全ての自転車販売形態において影響が無かったとしている。

2008年上半期のドイツ国内生産台数は、昨年より155千台多い前年比10.3%増の1,658千台に伸長した。その国内生産増を受け輸出台数は、同比約78.8%もの大幅増の590千台に達した。最多輸出先は、昨年のオランダから今年はオーストリア100千台、ベルギー100千台となった。他には、ポーランドへ75千台輸出された。輸入も前年比8.3%増の1,774千台と増え続けている。最多輸入先は台湾267千台であるが、他アジア地域ではタイ、インドネシア、カンボジアからの輸入が増えている。欧州地域では最多のポーランドのほか、ルーマニア、チェコからの輸入が増えた。

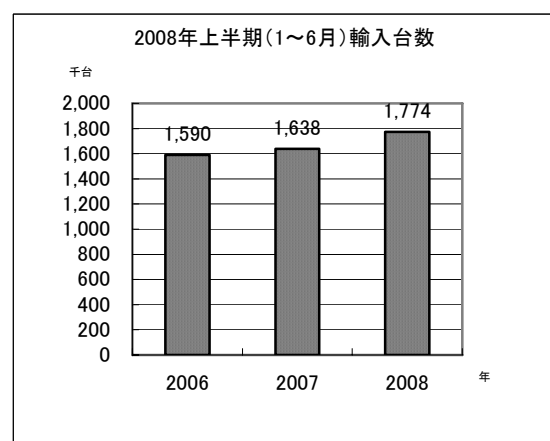
### <国内生産>



### <輸出>



### <輸入>



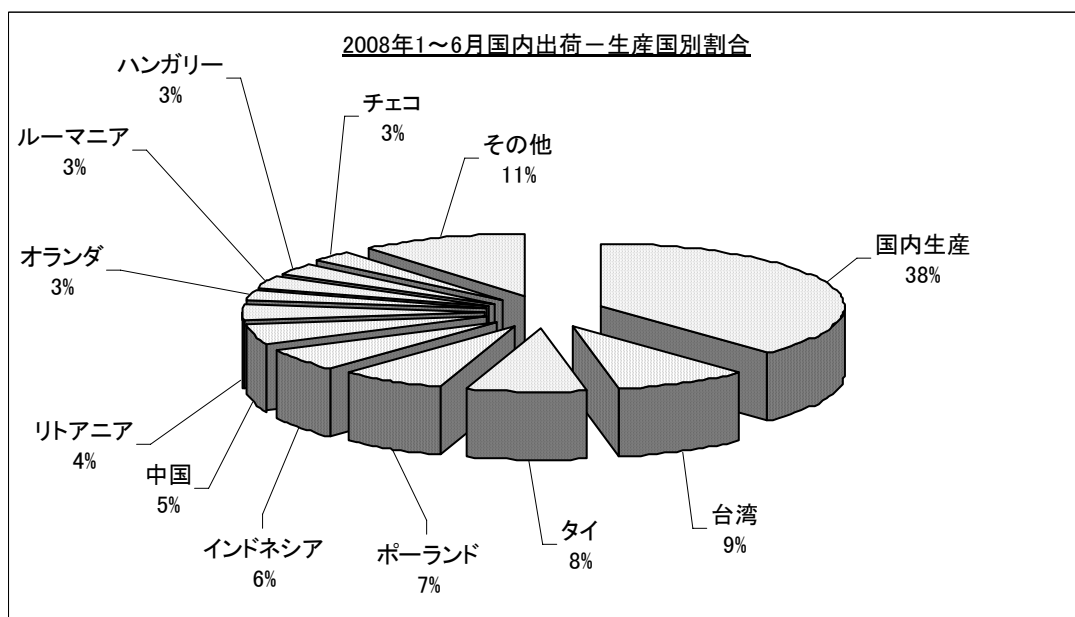
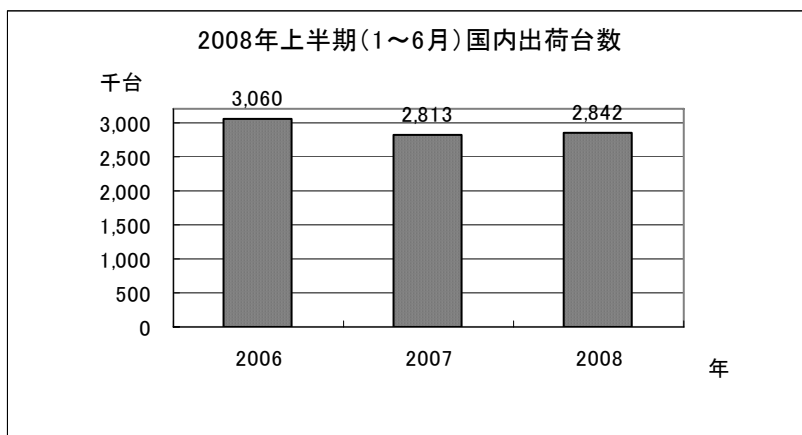
## 2. 国内出荷

2008年上半期(1~6月)の国内出荷台数は、前年同期より微増の2,842千台であった。自転車小売専門店は、前年より引き続き販売好調で市場シェアも堅持したが、スーパーマーケッ

ト等の量販は販売減となり厳しい結果となった。

国内出荷について生産国別に見ると、ドイツ国内生産分は38%と昨年42%より減少した。その他の国々では依然として最多は台湾だが、アジア地域ではタイ221千台、インドネシア172千台などが上位を占める。一方、欧州地域ではポーランド198千台、リトアニア125千台と上位にあってもそれぞれ台数は前年より減少した。その他ではルーマニアが88千台と前年比91%増と倍近い伸びを示し、チェコも75千台と同比36%増となるなど、欧州では依然として輸入先はめまぐるしく変化している。

### <国内出荷>



### 3. 今後の見通し

2008年も引き続きトレッキング車の人気が続くと見られるが、電動自転車や電動アシスト自転車の最近の急成長により、ZIVでは2008年ドイツ市場において同車種販売は10万台に達するものと見込んでいる。また、部品・アクセサリ等付属品の販売については正確な統計数値はないものの、国内企業への動向聴取などにより、部品・付属品販売も堅調であり、特にアフターマーケット用商品の販売が好調であると述べている。

更に最近の原材料費、光熱費及び労働コストの高騰により 2009 年は物価の上昇が予測される。それにより消費者から移動手段として自転車が見直され、利用機会が増える可能性もあるとして、ZIV では自転車利用促進のキャンペーンを開始した。

統計出所： ドイツ二輪産業協会 (ZIV)

以 上

(デュッセルドルフ事務所)